

沿 革

1. まちの概要

海から開かれた浜中町は、釧路地方の最東端に位置し、厚岸町・別海町・根室市に接している。東南は太平洋に面し、霧多布半島を形成し、厚岸道立自然公園の一角をなしている。陸部は中央を東西に走る鉄道、南部は森林、牧草地帯、北部一帯は農村地帯で平坦な丘陵性台地を形成している。

2. まちのおいたち

この地に和人が足跡を印したのは、遠くは寛永年間（1627年以降）であり、元禄14年（1701年）に厚岸場所を割いて松前藩のキイタツ場所が開かれたのが本町のはじまりであり、まさに海から開かれたまちである。

明治2年7月函館に開拓史が設置され、同月蝦夷は北海道と改められたが、このときから当地方は佐賀藩の支配地となった。同藩では12戸の農工民を移住させ、この人たちが本町における定住者のはじめとなった。

以来、明治39年霧多布外1町4カ村を合わせて浜中村と改め、2級町村制を施行、大正8年には1級町村制を施行し、国鉄根室本線が開通。

農業においては大正6、7年ごろ農業移住者が入りはじめ、同12年には114戸の農家が入植した。昭和30年には茶内原野を中心として高度集約酪農経営地帯の指定を受け本格的な農業経営がはじまった。

一方、漁業においては、昭和22年霧多布港の築設工事に着手、同31年には散布魚田開発基地の指定を受けた。

また、昭和27年十勝沖地震津波、昭和35年チリ沖地震津波の二大災害に襲われたが、墳墓の地を守り抜く郷土愛に支えられ、災害

後17キに及ぶ防潮堤の建設がなされ、驚異的な復興を成し遂げた。

昭和38年8月1日に町制施行、昭和53年10月に開町100年を迎えている。

この後も、平成5年に釧路沖地震、平成6年に北海道東方沖地震の連年災害を受けたが、これらも郷土を守り抜く姿勢を貫き見事に復興、さらに、平成7年にはいち早い情報伝達ができるように町内全戸に防災行政無線を設置した。現在、海岸地区のデジタル化に向けた整備が進められている。

平成20年、開町130周年、町制施行45周年を迎え、住民が安心して暮らせるよう津波防災ステーションを整備、また、快適な住環境と生産基盤の環境を守るために下水道等の整備を進め、21世紀のまちづくりに向け邁進している。

3. 本町の特性

(1) 産 業

産業の主軸は漁業・農業・商工観光からなり、漁業は昆布漁を中心に沿岸漁業とサケ・マス漁等を中心とした沖合い漁業に分けられる。

近年、ウニやアサリなどの栽培漁業を推進し、前浜・湖沼などを活用した資源の増大を図り、新たな漁業振興の可能性を模索しながら、海を耕し、つくり育てる漁業の振興を図っている。また、地場産品の開発にも目を向け、一次産品に付加価値を高めるため「地域経済活性化促進奨励助成制度」や製品開発加工体験施設を設け、試験・研究・開発を促進し、1.5次産業や増養殖事業の振興に努めている。

農業では、足腰の強い酪農を目指し、昭和45年から着手した国営総合農地開発事業が平成3年に完成を見ている。全国に先がけて乳質、土壌・飼料等の解析を行う新農業構造

改善事業での酪農技術センターをもって、生産技術を高める取り組みや、新規就農者研修牧場を核に農業者の技術向上と地域に適合する営農技術体系の確立による農業の活性化を図っている。

平成13年より国営環境保全型かんがい排水事業に着手し、食糧の生産・供給基地としての役割と、自然との共生を図りながら豊かな酪農郷を目指している。

観光においては、霧多布湿原や霧多布岬などに年間約35万人の観光客が訪れており、浜中の自然とそのすばらしい景観を前面に打ち出し、入り込み客の大幅増を目指している。

商工においても、愛町購買運動や祝賀企画を立ち上げるなど、地元購買力の流出防止に努めている。

(2) 生活環境をとりまく自然的特性

本町の地形は約67キロに及ぶ海岸（砂浜）の曲線美と大自然が創りあげた奇岩・絶壁、大小の島々など比類のない景観を呈している。

また、霧多布湿原は3.168[㍊]の広さをもつ大きな湿原で、春・夏にかけて咲き誇る草花は数百種を数え、道立自然公園として親しまれ、この中央部803.46[㍊]は「霧多布泥炭形成植物群落」として、大正11年に国の天然記念物に指定されている。

このことから、国際的・学術的にも注目を集め、平成5年6月にラムサール条約登録湿地に認定され、あわせて、先導的な地域づくりに自治省が支援するリーディングプロジェクト「自然とふれあいの里づくり事業」で霧多布湿原センターを建設した。

また、平成13年10月には霧多布湿原が北海道遺産に選定されるなど、自然と調和した地域活性化を促す役割を担っている。

更に、国定公園の指定に向けた準備作業を

進めている。

このように「わがふるさと」は道東地域屈指の風光明媚な景観（素材）を備えており、広大な酪農地帯も含めて素晴らしい自然環境が保全されている。

この豊かな自然は、ここに暮らす人々の誇りであり、次世代に継げる財産でもある。

浜中町の位置

東経 145° 19′ 52″

144° 55′ 24″

北緯 42° 59′ 30″

43° 14′ 33″

面積 423.43 km²

東西 19.63 km 南北 51.05 km

